

中華人民共和国
リハビリテーション専門職養成
プロジェクト
短期調査団報告書

平成13年5月

国際協力事業団
医療協力部

序 文

中華人民共和国(以下、中国)では、6,000万人ほどの障害者が存在していると推定されており、中国政府は各地にリハビリセンターの建設を推進し、また3級、2級の総合病院にリハビリテーション科を設置するように規定しています。

しかし、中国では、理学療法士・作業療法士の専門的な養成機関が不足していることにより適切な技術レベルをもつ理学療法士・作業療法士のリハビリテーション専門職が配置されておらず、また人材の不足も問題となっています。このような状況の中、中国の理学療法士および作業療法士のリハビリテーション専門職養成の体制の整備と、同専門職の技術レベルの確保と質の高い医療サービスの提供を行うために、中国より本件が要請されました。

これをうけ国際協力事業団は、プロジェクト方式技術協力による理学療法士・作業療法士などのリハビリテーション専門職養成に係るプロジェクトの実施の可能性について調査すべく、2001年2月26日から3月31日までの間、国際協力事業団医療協力部長 遠藤明をはじめ、短期調査員を合計8名派遣しました。

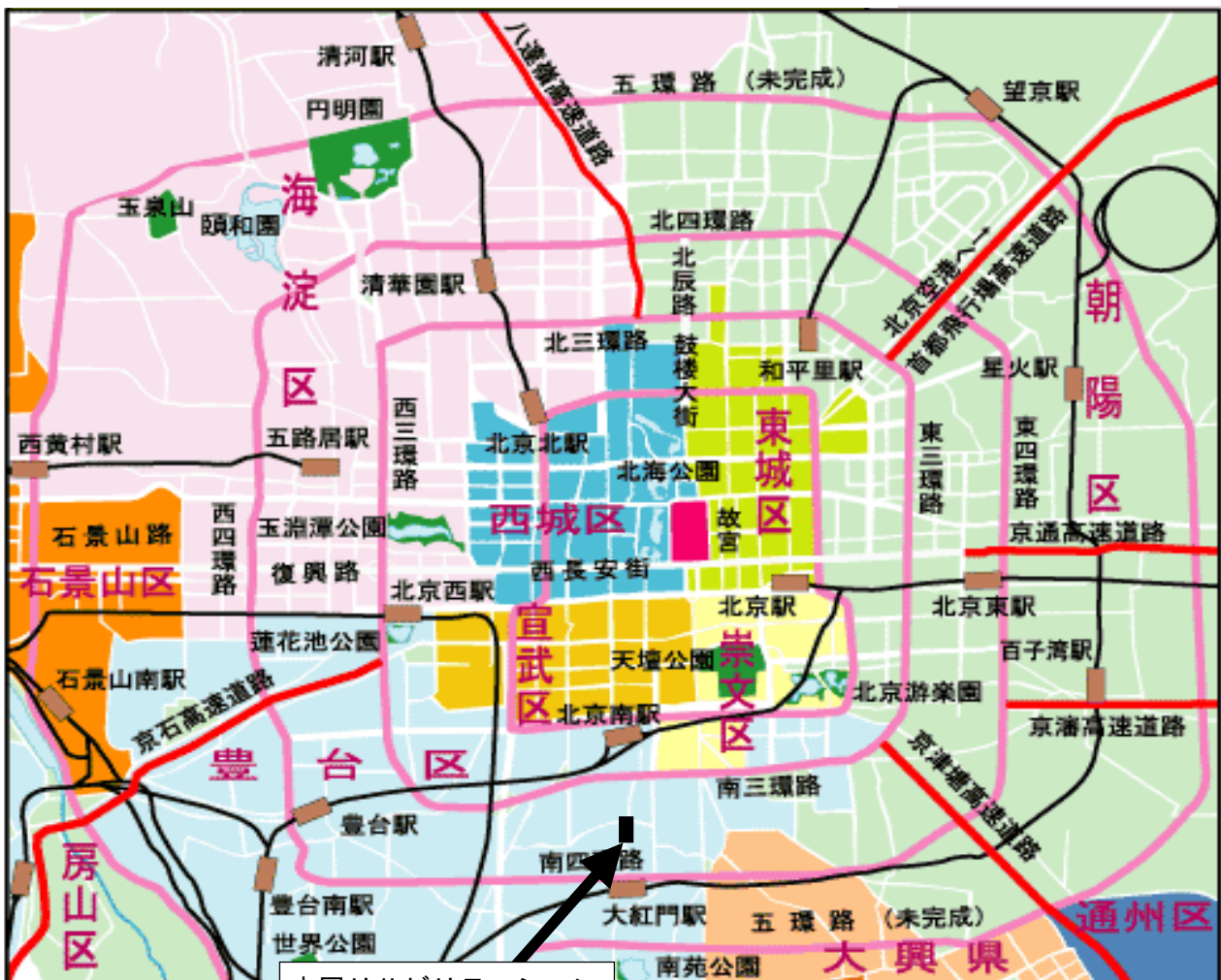
本報告書は、同調査の調査結果をとりまとめたものです。ここに、本調査にご協力を賜りました関係各位に対しまして深甚なる謝意を表します。

平成 13 年 5 月

国際協力事業団
理事 阿部英樹



北京市位置図



中国リハビリテーション
研究センター

北京市内地図

リハビリテーション研究センター位置図



写真1 中国リハビリテーション研究
センター内理学療法室



写真2 中国リハビリテーション研究
センター内作業療法室

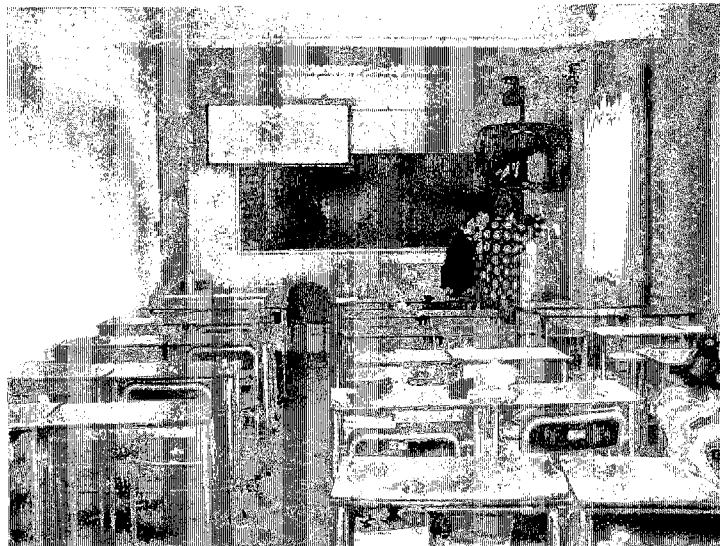


写真3 中国リハビリテーション研究
センター内リハビリテーション
医学院の教室



写真4 中国リハビリテーション研究
センタースタッフとのPCM
ワークショップ



写真5 ミニッツに署名する王新憲・中国
障害者連合会常務副理事長（右）
と遠藤明・国際協力事業団医療協
力部部長（左）

目 次

序 文
地 図
写 真

1 . 短期調査団派遣	1
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的	1
1 - 2 調査内容	1
1 - 3 調査団の構成	2
1 - 4 調査日程	3
1 - 5 主要面談者	4
2 . 総 括	5
3 . 要請の背景と内容	9
4 . 開発計画の現状との関連	13
5 . 協力分野の現状と課題	16
6 . 中国リハビリテーション研究センターにおける人材養成の現状と問題点	18
7 . プロジェクト実施計画の概要	35
7 - 1 プロジェクトの概要	35
7 - 2 プロジェクト・サイクル・マネジメント (P C M) ワークショップ実施報告	35
8 . 関係機関・組織	53
附属資料	
現有機材リスト	59
要望機材リスト	68
ミニッツ (和文、中文)	71
中国のリハビリテーション医学 (衛生部作成、和文訳)	80
リハビリテーション活動をテーマとした会議議事録 (中国障害者連合会、和文訳) 衛生部文書「総合病院リハビリテーション医学科管理規範」1996年4月3日発布 (和文訳)	84
大学教師職務試行条例 (和文訳)	95